

十勝地方における主な災害等一覧表

災害の種類	災害名	発生年月日	被害状況(十勝管内)
地震	十勝沖地震	昭和27年3月4日 1952年	震度6 豊頃 池田 浦幌 幕別 震度5 帯広 死者4名
		昭和43年5月16日 1968年	震度5 広尾 死者4名
		平成15年9月26日 2003年	震度6 鹿追町、幕別町、豊頃町、忠類村 最高で2m55cm(北海道豊頃町・大津で記録)
		平成20年9月11日 2008年	震度5 大樹町 震度4 帯広市、音更町、幕別町、豊頃町、中札内村、更別村、広尾町
風水害	台風10号	平成15年8月9日 2003年	上士幌町 死者5名 軽傷者1名
	台風6号	平成14年7月10日 2002年	幕別町・本別町で土砂崩れや道路路肩の崩落による通行止め発生。
	台風12号	昭和56年8月3日 1981年	上士幌町 西ヌプカウシ、中札内村 上札内で時間雨量が30mmを超え、4～6日の総雨量は300mmを上回り、国道・道道が通行止となる。
火山災害	十勝岳噴火	昭和37年6月29日 1962年	噴煙は12,000mにも達した。死者行方不明者5名、負傷者11名。トムラウシ地区、降灰火山性ガスのため住民避難。
		平成元年3月5日 1989年	噴火による火山灰は、十勝・釧路・網走支庁管内に降下。火砕流を伴った噴火が度々発生した。12月25日の噴火に伴う火砕流は62-2火口の北西の谷を流下し、避難小屋から南側160mの地点まで達した。
	雌阿寒岳噴火	平成20年3月21日 2008年	火口から約10kmの南東山麓では微量の降灰が確認されました。山頂(ポンマチネシリ火口)の北西斜面(標高約1300m付近)には新火口が誕生し、小規模な泥流が発生した。
火災	芽室大火	昭和39年3月22日 1964年	芽室町本通(中心部)から、3月22日未明に出火。風速15m～20mの強風にあおられ市街地が焼失した。被災者は、89世帯403名、重軽傷者は、3名。
山岳遭難	日高山縦走遭難	昭和40年3月14日 1965年	日高山系カムイエクウチカウシ山の山頂に近い、札内川上流の、十の沢で、雪洞を掘り、眠っているところを、大規模な雪崩に巻き込まれ、北大山岳部6名が全員死亡。救助は二次被害の恐れから雪解け後に行われ、6月に全員遺体で発見。